

令和5年度 浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進捗について

カーボンニュートラル推進事業本部

1 「浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の概要

2024年3月に改定した「浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」では、2030年度において2013年度比で市域から排出される温室効果ガスを52%削減することを目標に設定しました。

この目標を達成するため、市民・事業者・市が一体となって、徹底した省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの最大限の導入、新技術・イノベーションの推進、二酸化炭素吸収源の確保に取り組んでいます。

2 2021年度温室効果ガスの排出状況（速報値）

2021年度の温室効果ガス排出量は速報値で4,937.8千t-CO₂となり、森林等による二酸化炭素吸収量363.7千t-CO₂を差し引いた温室効果ガス排出量は4,574.1千t-CO₂となりました。基準年度である2013年度と比較すると、20.4%の減少となりました。

また、2020年度との比較では排出量が増加しており、主な要因としては、新型コロナウイルス感染症で落ち込んでいた経済の回復等によるエネルギー消費量の増加があげられます。

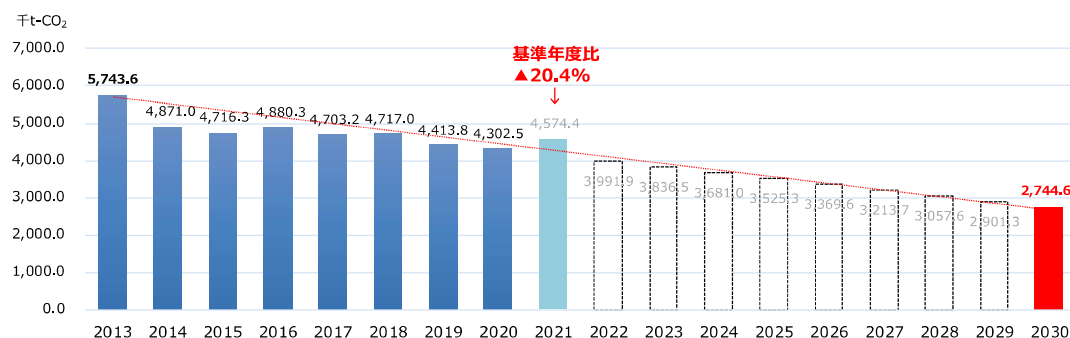


図1 温室効果ガス排出量推移

エネルギー起源温室効果ガス排出量のうち部門別では、産業部門で基準年度比 23.6%減、業務その他部門で 15.1%減、家庭部門 20.3%減、運輸部門 12.8%減でした。

表 1 エネルギー起源温室効果ガス排出量

単位：千 t-CO₂

	2013 【基準年】	2019	2020	2021 【速報値】	増減率 基準年度比
産業部門	1,321.6	972.5	957.9	1,009.5	-23.6%
業務その他部門	1,403.0	1,059.7	993.7	1,191.7	-15.1%
家庭部門	1,200.7	916.6	946.0	957.0	-20.3%
運輸部門	1,422.7	1,330.1	1,226.8	1,239.9	-12.8%
排出量計	5,348.0	4,278.9	4,124.4	4,398.1	-17.8%

3 エネルギー自給率

2050 年までに、市内の総消費電力に相当する電気を、市内の再生可能エネルギー施設で生み出すことが出来る状態「浜松市域“RE100”」を目指しています。

2022 年度のエネルギー（電力）自給率※は 18.2%となりました。

エネルギー自給率は、年々増加しており、今後も、再生可能エネルギーの最大限の導入を進めていきます。

※エネルギー（電力）自給率

＝市内に立地する再生可能エネルギー等（大規模水力発電除く）による
年間発電量÷市内の年間総電力使用量

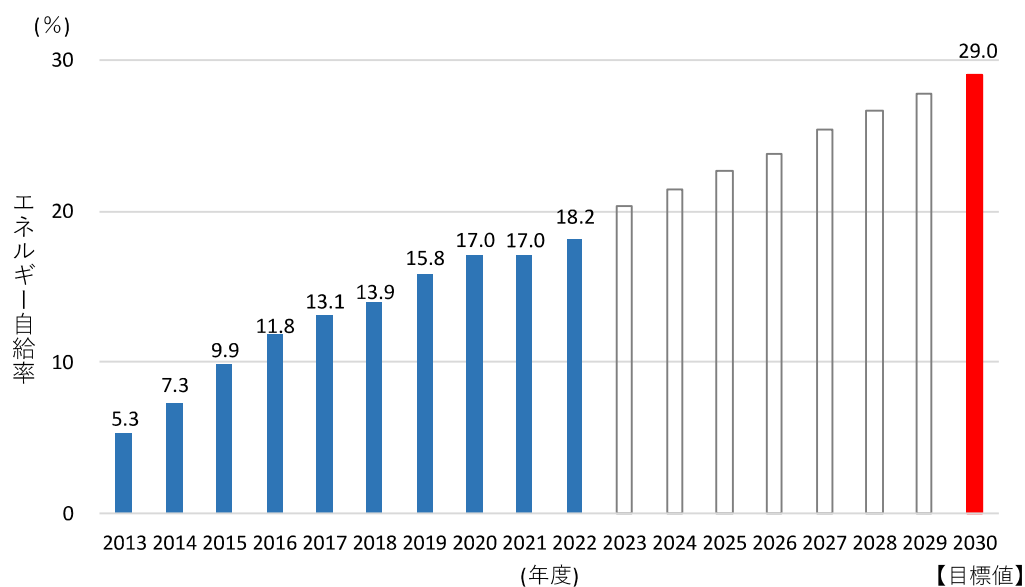


図 2 エネルギー自給率推移

4 令和5年度の主な基本施策別事業

基本施策1 徹底した省エネルギーの推進

事業活動への取組みとして新たな制度及び組織を構築し、市民に向けては、補助支援、啓発事業を実施しました。

<主な取組実績>

浜松市カーボンニュートラル達成事業者認定制度				
事業活動の省エネルギー化の取組みとして、カーボンニュートラルに市内のトップランナーとして取組む事業者を顕彰				
実績	カーボンニュートラル達成事業者 ※1つ星：電力のみのエネルギー起源CO2の排出 実質ゼロを達成 2つ星：エネルギー起源CO2の排出実質ゼロを達成	1つ星	6事業者	計11事業者 (75事業所)
		2つ星	5事業者	
浜松地域脱炭素経営支援コンソーシアム				
市、産業支援機関、金融機関、地域新電力など7団体で構成 地域企業の脱炭素経営を支援機関が一体となって伴走支援する実行組織				
実績	カーボンニュートラル診断	19件		
	専門家派遣	16件		
市民向け創エネ・省エネ・蓄エネ型住宅・EV推進支援				
ZEHの建築や住宅への太陽光発電・蓄電池などの設置、次世代自動車の購入に関する補助金を交付				
実績	太陽光発電	556件		
	燃料電池	105件		
	蓄電池	938件		
	V2H対応型充電設備	44件		
	太陽熱利用システム	75件		
	ZEH住宅	373件		
	電気自動車	381件		
浜松市地球温暖化防止活動推進センター				
省エネネットワークやウェブサイト等による情報発信、会議・イベント、市民向け講座等を実施				
実績	STOP温暖化若者会議	6校1団体、36人		
	省エネ住宅普及啓発イベント	4回、109人		
	高断熱・高気密住宅の事例紹介	10事例		
広報はままつでの情報発信				
実績	「カーボンニュートラルへの挑戦」と題したコラムを毎月掲載			11回

基本施策 2 再生可能エネルギーの最大限の導入

国内有数の日照時間に恵まれた地域特性などを活かし、再生可能エネルギーの最大限の導入及び地産地消を推進しました。

<主な取組実績>

太陽光発電の導入		
導入に当たっては、再生可能エネルギーの拡大と地域との共生の両立を目指すため、条例及びガイドラインにより、適正な設置・管理を推進		
実績	FIT・FIP制度に基づく太陽光発電設備導入容量 (2024.3月経済産業省HP掲載データ)	620,655kW
	導入容量・10kW以上の導入件数	全国1位
(株)浜松新電力		
再生可能エネルギーの地産地消やエネルギーの地域経済循環をより一層推進していくため、市が増資を行い筆頭株主となる		
特別高圧と高圧の需要家に供給するすべての電力を実質再生可能エネルギー100%に切替 (2024年2月)		
実績	電力供給量	約39,000MWh
	うち再生可能エネルギー由来	約28,000 MWh
	地産地消率	71%

基本施策 3 新技術・イノベーションの推進

2050年カーボンニュートラル実現に向け、新たな組織を立ち上げました。

<主な取組実績>

浜松市カーボンニュートラル推進協議会			
地域脱炭素や地域企業のGXに向けた取組を強化するため、8月に設立			
実績	参加数	111企業・団体（2024年3月）	
	キックオフフォーラム参加者数	130名	
	ゼロカーボン・ショートピッチ参加者数	1回目	73名
		2回目	101名
水素利活用可能性調査			
市域における現状の水素の利用状況や、将来的な水素の利用可能性等の調査を実施			
実績	現状はコスト面などの課題があり、市内での水素の利用は限定的だが、将来的には工場などにおける電化が困難な高温熱領域での利用や、長距離輸送におけるECトラックの水素ステーションとしての利用が考えられる		

基本施策 4 二酸化炭素吸収源の確保

FSC森林認証制度に基づく持続可能な森林整備・管理を推進しました。

<主な取組実績>

FSC認証林		
認証面積の更新・拡大を進めた結果、FSC認証林面積は増加し、市町村別認証面積日本一を維持		
実績	FSC森林認証面積	49,703ha
天竜材の家百年住居(すまいる)事業		
天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、市内で天竜材を一定量以上使用した建築主に対する助成を実施		
実績	支援件数	142棟
天竜材ぬくもり空間創出事業		
天竜材(FSC認証材)の利用拡大のため、非住宅建築物の木造・木質化を行う施主に対し、FSC認証材または木製家具・木製品の購入費の助成を実施		
実績	支援件数	11件